

不動院寺報

# 不動院と檀家と

第7号 令和4年12月  
 片岡卓治 住職  
 鈴木裕士 総代長  
 発行人 編集人

## 住職挨拶



今年にはコロナに関するニュースの他、ロシアによるウクライナ侵攻が毎日のように報道され、物価高など、その影響は私たちの日常生活にも及ぶところが多くありました。ウクライナの各都市では連日、数多くの建物が破壊され、たくさんの尊い生命が失われました。目を覆いたくなるような痛ましいニュースに触れるたび、深い悲しみを覚えます。

このような状況の中、どんなに苦しくても家族のために、祖国のために戦う人たちの姿を目にする。「背暗向明（はいあんこうみょう）」という言葉が思い浮かびます。これは弘法大師の書かれた『性霊集』の中に出てくる言葉ですが、暗いものには背を向け、明るい光が差すほうを向かいましょうというという意味です。「できないことではなく、今できることを」この方向性の大切さを教えて下さっているのではないのでしょうか。

明暗どちらを向いて生きるかで、今の状況が大

きく変わっていきます。前向きしていると現状がどうであれ、そこで一生懸命になれるのです。私たちは、辛いことがあるとふさぎ込んでしまいがちですが、そんな時こそ今できる一歩を踏み出し、夢や希望という明るい未来に向かいたいものですね。

## 三學山 不動院 岩崎寺



旧本堂

現在の本堂は平成七年十二月に落成法要が行われました。それまでは間口七間と推定される上掲写真の建物で未だご記憶の方もおられるかと思えます

元文四年（一七四一年？）に建立、以来280年を経過。コンクリートの建造物より木造建築は長持ちすると言われていますが、火災を免れ、風雪や関東大震災にも耐えながら、長年の痛みに逆らえず、平成五年三月に解体されました。当時の建築技術や基礎工事が優れていたことが伺えると同時に、建物自体もよく頑張った、ご苦労様でしたとの言葉に尽きます。

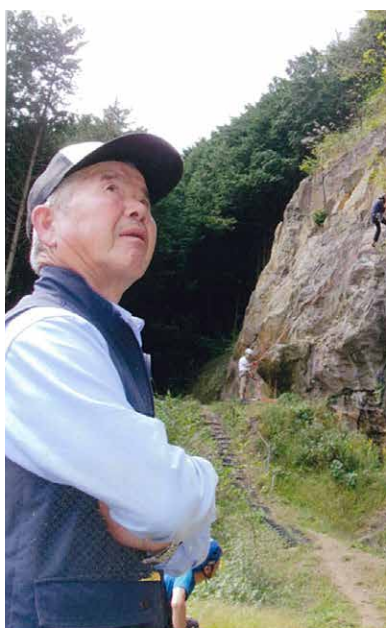
創建当時は、一時期テレビで放映された名奉行「大岡越前」の守忠相それに「暴れん坊将軍」吉

宗の時代でした。吉宗は治水・理立・華奢の戒め、新田開発等により幕政を改革したことで有名ですが、一方で年貢（税に相当）を増やしたことから経済が疲弊し、当地でも上郷、下郷の農民が土浦藩の江戸屋敷へ強訴し、相応の処分を受けた時代です。

これほどの規模の建物を建てるのは多額の資金を必要としたはず。経済が停滞していた時代で、檀家数も今の半分にも満たず（？）、また不動院には十三の末寺があったとは言え、資金を確保する苦勞も大変なものがあつたと推測されます。大口の寄進もあつたでしょうが、信仰心の厚さやお寺を大切に作る心が強かつたことが伺えるかと思えます。

## この人にインタビュー

今回は上郷長沢地区の手前にロッククライミング場「長沢ロック」を開設・運営している、不動院の檀家で山野区在住の藤枝要一さんに登場をお願いしました。



**Q** 長沢ロックを始めた理由・動機は？  
**A** 男のロマンです。



当クライミング場は会員制で、年間約3500人が訪れ、男性86歳、女性90歳の方もいるとのこと。また、他所に比べ冬が温いとの声も。県外ナンバーの車も多い。

ト地となっています）  
長野県の川上村を見本として目指したい。（クライミング、旅館、キャンプ、登山、ハイキング、温泉、地産直売所等村全体がリゾート地となっています）

- A Q** ロッククライミングとの関わりは？
- A Q** 二男が、英国でのワールドユース、中国でのワールドカップに出場したことで興味が湧きました。
- A Q** 危険はないですか？
- A Q** ルールを守れば事故は発生しません。開設以来1cm位の切り傷が1件発生しただけです。
- A Q** 場所確保の資金は？
- A Q** 全てクラウドファンディングです。
- A Q** 面積は約3万5千㎡です。
- A Q** 長沢ロックの魅力は3つ挙げて下さい。
- A Q** ①世界に1つだけのナイター設備
- A Q** ②水洗トイレ完備
- A Q** ③アプローチゼロ
- A Q** 今後の抱負を！

## 不動院ガイド イチヨウの木



山門をくぐって左を見るとイチヨウの大木が目に入ります。樹木は種類や生育している環境それに枝等の伐採の有無によつて成長度合いが違いますが、本院のイチヨウは450年の樹齢と推定され、押辺の八龍神社とほぼ同じ位でしょう。またイチヨウは寿命の長い木であり、全国各地に巨樹が見られ、青森県深浦町では幹回り22m樹齢が1千年を超え、イチヨウでは全国No1と言われる巨木があります。

イチヨウは、水分を多く含む葉もかりですが枝・木の部分も燃えにくいことから、火災での延焼を防ぐため神社仏閣の多くで植えられている他、景観面からも街路樹として最も多く使用されています。またイチヨウの街路樹は札幌市内にある北海道大学構内（樹齢100年超、70本、距離380m）や明治神宮外苑絵画館前、それに大阪市御堂筋が有名です。しかしながら絵画館前の

それは（樹齢100年、300m、4列、146本）手入れが行き届き均整がとれて見事ですが、排気ガスの影響からか、黄葉の色に鮮やかさが欠けるのが残念でなりません。御堂筋の並木（800本超、4列、4km）は、昭和四十年代に見た時は手入れがされていながら樹形に自然さを残し見応えがあったのですが、植え替えや地下道の発達による土不足からか、数年前に見た時は樹木に勢いと年齢を感じられませんでした。

因みに日本の三大防火樹は、サンゴジユ、イチヨウ、コウヤマキと言われています。  
（「イチヨウの木」は次号へ続きます）

## 不動院からのお知らせ

◎去る8月4日、三年ぶりに檀家様をお招きしてお施餓鬼会を実施いたしました。今年度は、石岡市瓦井の雲照寺御住職、笠間市手越の東性寺副住職を式衆としてお迎えし、新盆の檀家様約五十名のご参加のもと、法要を執り行いました。

◎先日、境内にある永代供養塔に塔婆立てを増設し、さらに供養塔脇に水道設備を設置いたしました。お参りの際にご利用頂ければと思います。

◎前号でもお知らせいたしました。諸般の事情により、令和五年四月一日から塔婆代を値上げさせて頂きます。皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

- 五尺塔婆 三千元 ↓ 五千元
- 六尺塔婆 五千元 ↓ 七千元